

令和5年9月 高島市議会定例会 開会挨拶

令和5年8月30日（水）10:00～

あらためまして、おはようございます。

本日ここに、令和5年9月高島市議会定例会を招集させていただきましたところ、議員各位におかれましては、ご出席を賜り誠にありがとうございます。

それでは開会にあたりまして、この機会に一言ご挨拶を申し上げます。

まずは、本定例会におきましては、令和4年度高島市一般会計歳入歳出決算をはじめ各会計にかかります決算認定をお諮りすることとなり、後ほど 多胡代表監査委員 から審査のご報告をいただくこととなりますが、この機会に私から健全化法におけます4つの財政指標のうち将来負担比率に関しまして、その所感の一端を申し上げます。

ご承知の通り将来負担比率とは、地方公共団体の借入金など現在抱えている負債の大きさを、当該、地方公共団体の財政規模に対する割合で示すものであります。私が現在の職をお預りいたしました前年度となります平成24年度決算におけます将来負担比率は147.0と極めて高く、また県内でワースト2の数値となっております。中期財政計画上、近い将来の必要な予算編成も困難な状況が容易に想定される指数で推移していたところであります。

このため各金融機関等のご理解をいただきながら、借入利率の高い地方債の繰上償還をはじめ、不要不急の各種事業の見直しや公共施設の再編整備、あるいは各種公共料金の見直し、職員の定数管理、さらには各種事業の予算編成に際しましての財源には国・県の補助メニュ

一の選択はもとより、起債発行におきましては原則として後年度の元利償還には交付税が参入されるものに限定する等、全般に亘り徹底した行財政改革に取り組んで参ったところであります。

その結果、将来負担比率の分子の一部となります基金もこの10年間で77億85百万円余りを積み増しし、令和4年度末基金残高が144億91百万円余りとなり、ようやく高島市として初めて将来負担比率が無しとなったところであります。

今後におきましても、引き続き全庁挙げてより一層の健全な財政運営に努めて参らなければならないと考えているところであります。

次に、国道161号の整備促進について、この機会にその取り組み状況をこの機会にご報告申し上げます。

国道161号の改良整備促進につきましては、隣接する大津市と福井県敦賀市の3市で構成しております期成同盟会の活動として、毎年、国土交通省や財務省などに対する早期整備と必要な予算の確保に向け要望を実施しているところであります。

そのような中で、大津市真野坂本北間の4車線化や、小松拡幅14工区につきましては、その完成が令和7年秋とされておりますものの、安曇川地区交差点立体化事業については、完成の目途が示されず本年度の箇所別予算措置の状況からも、同時期の竣工は困難と言わざるを得ない状況となっております。

このため市といたしましては、安曇川地区交差点立体化事業につきましても、他の工区と同様の早期整備に繋げるために、先日、近畿地方整備局長に対しまして改めて強く要望いたしますとともに、来週に

は直接、国土交通省ならびに財務省に対しまして、本年度の補正予算措置も含めまして特別要望を実施することとしております。

市議会におかれましても、こうした状況をご賢察のうえで必要な対応を図られますようお願い申し上げる次第でもあります。

最後に、令和4年度における農産物輸出拡大事業に伴う補助金の返還請求についてであります。

このことにつきましては、債権の確実な回収に向けた迅速な対応が求められておりましたことから、今期定例会の開会を待つことなく、去る7月19日の本年第2回臨時会において、訴えの提起に関する市議会の議決と弁護士費用に係る補正予算を賛成多数で可決いただいたところであります。

市では、直ちに顧問弁護士との委任契約を締結し、現在は、訴訟の提起に必要な過去の経過等に関する資料や証拠書類の整理など、公判前の準備作業が行われているところであります。

現在準備中の詳細な内容を申し上げる事は控えますが、準備が整い次第、速やかに必要な措置に移行して参りたいと考えているところであります。

また、市といたしましては、当該債権の確実な回収に向け、組織をあげて全力で取り組む所存でありまして、庁内に副市長をリーダーとした関係職員によるプロジェクトチームを設置したところであり、議員各位におかれましても、何卒お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

さて、本定例会に提案させていただきます案件は、報告案件が3件、人事案件が11件、議決案件が4件、決算認定が9件、条例案件が6件、そして予算案件が4件の計37件を予定しております。

提案いたします各議案につきましては、何卒、慎重審議のうえ、ご議決を賜りますようお願い申し上げ、開会にあたりましてのご挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしくお願い致します。